

ふくせん

道部内職員制服]が定められ、この制定で傭人の銀ボタン、銀鍍金の帽章が雇員と同一のものに改められた。

第2次大戦によって昭和20・2に略帽、同年4月に階級章、隊長章等が制定されたが終戦とともに姿を消した。

昭和20・8に傭人の制度がなくなるに伴って傭人の制服が廃止され、昭和21・9に高等官、判任官の区別が官吏、同待遇と統一されるとともに立襟が立折襟に改められた。

女子職員の制服については上覆、ホテル給仕の胸掛等が定められていたが、洋式の制服が明確に定められたのは昭和18・10で、この制服は背広型のスーツで、スカートのほかにズボンが定められ、上衣はバンドをつけるものであった。昭和22・9の改正で現行の**日本国有鉄道職員制服**が制定された。なおこのほかに鉄道公安職員の制服と特別急行列車に乗務する女子職員の制服がある。(大迫貞矩)

ふくせん 複線 (英)double track (独)zweigleisige Bahn (仏)ligne à double voie 停車場間の本線路が2線あって、おのおのの線路の運転方向が反対方向になっているもの。このように一方を上り、他方を下りというように分けて運転することを複線運転という。したがって本線路が2線あっても、運転方向が分離されていない場合は単線が2線平行しているのであって、複線ではない。

列車回数がある限度をこえると、単線では運転ができなくなるので複線とする。閉塞(へいそく)区間長、線路の状態、列車種別などによって異なるが、おおむね片道の列車回数30~40回以上の場合複線とする必要がある。複線の場合は停車場間で閉塞区間を分割することにより、後続列車を入れることができるようになるので、単線2線の場合にくらべて、はるかに線路容量が増加する。閉塞区間長、線路の状態、列車種別などによって異なるが普通の列車運転区間では片道約100回まで列車を入れることができ、電車運転区間で速度が一定している場合には2分程度まで、運転時隔を短縮することができる。複線区間の閉塞方式は、自動閉塞式または双信閉塞式によるが、双信閉塞式は保安度が低いので、自動閉塞式が一般に用いられている。(安河内麻雄)

ふくせんしきでんしゃせん 複線式電車線 (英)double trolley wire system

電車線架設方式の1種で、電車線2条を相互に絶縁し、この2条の電車線から車両に電気を供給する方式である。電食や誘導障害防止のためレールを帰線として使用できない電気鉄道や、3相交流式電気鉄道の1相にレールを使用する場合、レールの利用ができないトロリーバスなどに使用される。(竹淵立男)

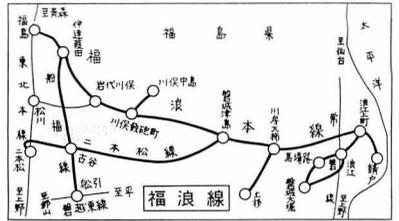


複線式電車線

ふくちやません 福知山線 東海道本線尼崎駅から北西に進み、山陰本線福知山駅に至る108.3kmの線。塚口・尼崎港間4.6kmの枝線を含む。東海道線に属し線路等級は尼崎・福知山間は乙線で枝線は丙線である。明治26・12尼崎・池田間を摂津鉄道株式会社、明治32・7池田・福知山間を阪鶴鉄道株式会社が建設したが、明治40・8鉄道国有法によって国鉄に移管し、福知山線と改めた。この線は東海道本線と山陰本線を結ぶ線であり、阪神地方と山陰地方との交通に利用され、列車も大阪から直通するものが多く、また東京・大社間直通急行列車「いづも号」もこの線を經由している。(森 梯寿)

ふくなみせん 福浪線 東北本線福島駅を起点とし、岩代川俣、

磐城津島を経て、常磐線の浪江駅を終点とする福浪本線と、二本松線・船福線等からなる国鉄自動車路線で、これを所管する福島自動車営業所を福島市に、岩代川俣派出所を福島県伊達郡川俣町に、浪江派出所を同県双葉郡浪江町に設置している。



1 区間・キロ程および沿革

福浪本線	福島・浪江	75km	昭13・6・20開業
	川俣鉄砲町・川俣中島	1	"
	浪江上町・請戸	5	"
	浪江・磐城大堀	8	昭27・3・15
	川俣大柿・上移	26	昭28・5・15
	浪江・馬場路・磐城大堀	7	昭31・6・16
二本松線	磐城津島・二本松	40	昭27・5・1
船福線	伊達葭田・船引	41	昭29・12・28

2 営業範囲 福島・請戸間は旅客・手小荷物および貨物、その他の区間は旅客・手小荷物の運輸営業を行っている。

3 接続駅および業務委託駅

- (1) 接続駅 福島, 岩代川俣, 浪江, 二本松, 船引。
- (2) 業務委託駅 柴切田, 十二社, 小綱木沢, 問屋前, 磐城津島, 塩浸, 川俣大柿, 室原, 請戸。

4 使命 東北本線と常磐線を短絡して、地方交通の確保、産業開発を使命とする路線で、とくに福島市方面から海への最短コースとして利用度が高い。なお川俣・浪江間は鉄道建設予定線になっている。例年降雪悪路のため、川俣大柿, 上移間は1月から4月まで運転を休止している。

5 特長 福島・船引間は国鉄、福島電鉄および福島県南バスの3者が運輸協定を締結して、昭和29・12・28から、協定区間を乗車する普通乗車券、回数乗車券および定期乗車券所持の旅客に対して、相互乗車の方法を実施している。

福浪線は阿武隈山脈を横断して福島と大平洋岸の請戸を直結している路線で、阿武隈川と室原川の清流にそい、谷深く水清くかくれたる名勝地巨寺等も多い。沿線には木炭、木材の産出が多くその産額は全国的にも有名である。福島を中心として近郊から桜桃、梨、柿の生産も最近特に盛んとなり、これらの出盛り期には戦場の如き混雑を呈する。川俣地方は古くから機業地として栄え、とくに羽二重は著名である。請戸はこの地方でもっとも勝れた海水浴場として有名であるほかに漁港として栄え、水揚げされた鮮魚類は遠く福島方面にも供給されている。平井から室原付近までの約18kmを泉田溪谷と呼び、室原川の清流が姫淵、下女淵、家老淵、仲間淵、仙人沢、不動滝等々の幽趣ある奇勝絶景を所々にくり広げている。福島駅の南4km杉妻村には阿武隈川の断崖に臨み景趣に富んだ黒岩虚空蔵があり、川俣付近には、頭陀寺、第6世幸徳和尚の創立といわれる常泉寺をはじめ、春日神社・機織神社・玉泉寺・東園寺等の社寺がある。(福田幸市)

ふくふくせん 複々線 (英)quadruple track (独)viergleisige Bahn (仏)ligne à voie quadruple 停車場外の本線路が4線あって、2線ずつ運転方向が反対方向となっている線路。この場合の運転方式に**方向別運転**(direction traffic)と**線路別運転**(line traffic)とがある。方向別運転は4線中片側の2線を上